

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	2	学校名	静岡県立松崎高等学校	校長名	八代 弘和
------	---	-----	------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

西豆地区における唯一の高等学校として、連携型中高一貫教育を実践し、また併設する特別支援学校と共生・共育を推進する。生徒一人ひとりに寄り添った多様な教育を通して自他を大切に、社会や地域に積極的に参画し貢献する生徒の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
① 新しい価値を創造し、地域に主体的に貢献する生徒。 ② 共生共育を通して、自他を認め、大切にする生徒。 ③ 知識・技能を活用し、他者との対話的・協働的に未来を切り拓いていく生徒。	① 個に応じたきめ細かな学習指導ができる教育課程の編成。 ② 連携型中高一貫教育のもと、地域と連携した西豆学に対応した教育課程の編成。	① 何事にも粘り強く、主体的に取り組む生徒。 ② 郷土を愛し、地域の課題を学び続けることができる生徒。 ③ 他者を尊重し、素直な心と思いやりを持った生徒。 ④ 自ら学び、自分の「生き方・在り方」を追求できる生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育成する。
- イ 道徳観を育成し、高い人権意識と社会人としての良識を培う。
- ウ キャリア教育を通じて、郷土に貢献し、社会の発展に寄与する人材を育成する。
- エ 地域と連携し、連携型中高一貫教育を発展的に推進する。
- オ 安心・安全に生活できる環境を整備する。
- カ 教職員の研修・研究活動を推進し、資質能力と指導力の向上を図る。
- キ 教職員自らが適切な勤務管理を行う。（ワークライフバランスの確立）
- ク 効率的で適正な事務を執行する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育成する。	シラバスの適切な運用を行い、ICT機器を活用するなど生徒の興味を引きつける授業研究・改善を進める。	・授業に興味をもって取り組む生徒が80%以上 ・授業が分かる生徒が80%以上 ・年2回以上の授業参観 ・授業アンケートの実施 ・年間を通した各教科の中高交流 ・新学習指導要領に則り、授業改善に取り組んだ教員が90%以上	教 務
		適切な課題を与えることによって、学習の習慣を定着させる。	・授業以外の学習時間が平均して1日1時間以上の生徒 特進 70%以上 総合 50%以上	教 務

		読書活動の推進と読書の習慣を醸成する。	・読書1か月1冊以上の生徒が50%以上	総務
イ	道徳観を育成し、高い人権意識と社会人としての良識を培う。	基本的な生活習慣の確立を図る。	・年間出席率99%以上 ・年間遅刻総数120回以下 ・清掃に集中して取り組む生徒が90%以上	生徒教務各学年
		共生・共育を推進し、特別支援教育を充実させる。	・伊豆松崎分校との交流活動において、両校生徒が協働する場を増やす。 ・人権に関する情報を発信し、意識を高める。	生徒教務
		様々な場面を通して、日頃から生徒とコミュニケーションをとる。	・信頼できる先生がいると答える生徒が80%以上 ・自ら進んで挨拶できる生徒が90%以上 ・常に正しい服装の生徒が90%以上 ・学校が楽しいと感じる生徒が85%以上	生徒
		生徒会活動の充実を図る。	・双獅祭等の学校行事を教職員と連携しながら、生徒会主体で組織的に運営する。	生徒
		部活動や保健体育の授業を通して心身の鍛錬に励む。	・部活動を通して心身の成長を感じた(部活動を通して「生きる力」を身につけたと思う)生徒80%以上 ・新体力テストで前年より記録を伸ばす生徒が75%以上	生徒保健体育科
		病気予防や健康増進に取り組む、情報提供を行う。	・歯科及び眼下の疾病治癒率が前年より上昇する。 ・朝食摂取率が100% ・毎朝の健康観察を行う。	生徒
		教育相談体制を構築させ、教育相談を充実させる。	・生徒の心の問題に対してSC、学年、課、担任の間で情報を共有し、チームで支援する。 ・1分間カウンセリングを年2回実施する。	生徒
ウ	キャリア教育を通じて、郷土に貢献し、社会の発展に寄与する人材を育成する。	進路指導マニュアルに従い学年ごとに適した進路指導を行う。	・内定率100% ・進路目標を確立(達成)できた生徒が 1年生 70%以上 2年生 80%以上 3年生 90%以上	進路
		就業に関わる体験的活動や計画的・体系的なキャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育成する。	・進路研修、進路ガイダンス等において事前、事後の指導を徹底する。 ・勤労観・職業観が深まった生徒90%以上	進路
エ	地域と連携し、連携型中高一貫教育を発展的に推進する。	中高間で連携し、6年間を見通した「西豆学」の見直しと検討を進める。	・中高での定期的な意見交換を行う。 ・組織的で系統だった新しい「西豆学」の運用を行う。	進路教務 1年部 2年部

様式第1号

		<p>連携型中高一貫教育連絡協議会の事務局として中心的役割を担う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議、運営委員会、各教科部会等を開催し、事業を円滑に実施する。 ・地域への発信を定期的に行う。 	<p>管理職 教 務 中高一貫 担当</p>
		<p>計画的な広報活動を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページ・SNS等の更新を行事ごと適宜行う。 ・学校は積極的に情報発信を行っている と答える生徒・保護者 80%以上 	<p>総 務 生 徒</p>
オ	<p>安心・安全に生活できる環境を整備する。</p>	<p>命を守る視点から、安全教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外、通学路等の点検を行う。 ・交通指導員の指導件数を年間 10 件以内にする。 	<p>生 徒 事 務</p>
		<p>施設・設備を定期的に点検し、管理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の把握に努めるため、週 1 回以上の校内巡回を行う。 	<p>事 務</p>
		<p>防災教育の推進を図り、地域に貢献する高校生を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内避難訓練を 3 回実施する。 ・1 回以上、地域防災訓練へ参加した生徒が 90%以上 ・緊急時連絡メールを、全学年で 90%以上の保護者及び生徒が登録する。 	<p>総 務</p>
カ	<p>教職員の研修・研究活動を推進し、資質能力と指導力の向上を図る。</p>	<p>授業力量を向上させるための校内研修を充実させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年 3 回以上の全体研修会を実施する。 ・研修が業務改善の役に立ったと答える教員 70%以上 	<p>教 務</p>
		<p>教職員人事評価制度を活用し、課題と達成目標を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年 2 回の教職員面談において、自己の課題と達成目標を確認する。 	<p>管理職</p>
キ	<p>教職員自らが適切な勤務管理を行う。(ワークライフバランスの確立)</p>	<p>教職員が各自の業務記録を正確に行い、適切なワークライフバランスの意識を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月間の時間外業務が 80 時間以上になった場合には、自己診断チェックリストを提出し、必要に応じて管理職と面談を行う。 ・年休を取得しやすい環境づくりを行う。 	<p>管理職</p>
ク	<p>効率的で適正な事務を執行する。</p>	<p>表簿等の管理を厳正に行い、適正かつ正確な会計処理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・監査や検査等で指摘がないようにする。 	<p>事 務</p>
		<p>生徒・来訪者等に対して親切、丁寧な対応を徹底する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口や電話での対応において、苦情がないようにする。 	<p>事 務</p>
		<p>常に創意・工夫した事務改善を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室からの連絡や提出書類については、職員、生徒及び保護者に分かりやすいものとする。 	<p>事 務</p>